

特別研究Ⅱについて（シラバス別紙）

特別研究Ⅱの評価方法

特別研究Ⅱは

研究論文評価（60%）＋発表評価（30%）＋達成度評価（10%）
により行う。

研究論文評価

指導教員（主査）と指導教員の指名する1名の副査による総合評価とする。

発表評価

指導教員（主査）とその他の複数教員による総合評価とする。

達成度評価

指導教員が該当学生への口頭試問を行い評価する。

特別研究Ⅱ評価票

学籍番号		学生氏名	
------	--	------	--

研究論文評価

評価項目	主査評価	副査評価
目的とその背景は十分に記述されているか。 [5]		
従来技術・文献調査などの検討は十分に行われているか。 [10]		
理論展開は正しく行われているか。 [10]		
実験、シミュレーションなどは十分に計画され、実施されているか。 [10]		
結果のまとめと考察は十分に行われているか。 [10]		
次なる課題を明記するなど、研究の継続の姿勢が見られるか。 [10]		
独創性はあるか。 [5]		
	小計	①
		②
	評価点 (①+②)/2	A

発表評価

本発表評価				
評価項目	主査	評価A	評価B	評価C
わかりやすい発表であったか[10]				
発表態度、質疑応答などの対応は良いか[10]				
目的を明確に示しているか[10]				
計画・方法を明確に示しているか[10]				
図表はわかりやすくまとめられているか[10]				
成果を明確に示しているか[10]				
成果の社会的影響について言及しているか[10]				
小計				
評価点 (評価の平均)				B

達成度評価

質問項目	評価
この研究の目的をわかりやすく述べてください。 [5]	
この研究の背景について、研究と関連付けながら述べてください。 [5]	
この研究で努力した点をいくつか挙げてください。 [5]	
この研究の成果を簡潔に述べてください。 [5]	
この研究の成果が社会に及ぼす影響について簡潔に述べてください。 [5]	
教員設定質問 : [5]	
評価点	C

総合評価

A	B	C
総合評価点 $A + B + C/3$		$C/3=$ ただし、Cは教員設定質問がある場合は5/6を乗じる。